

8月の教室・行事予定

日	曜	教室・行事等
1	土	人権啓発指導者育成講座 (13:30~15:30)
5	水	フォークダンス (10:00~12:00)
7	金	健康体操 (13:30~15:30) 南子ども会 (19:30~21:00)
8	土	詩吟 (19:00~21:00)
11	火	茶道 (13:30~15:30)
12	水	健康相談 (13:30~15:30)
14	金	健康体操 (13:30~15:30) 南子ども会 (19:30~21:00)
19	水	フォークダンス (10:00~12:00)
21	金	神拝小校内研修 南子ども会 (19:30~21:00)
22	土	詩吟 (19:00~21:00)
25	火	茶道 (13:30~15:30)
28	金	健康体操 (13:30~15:30) 南子ども会 (19:30~21:00)
<p>開館時間： 平日 8:30~17:00 土曜日 8:30~12:00</p> <p>土曜日の午後、日曜日、国民の祝日、年末年始 (12/29~1/3) は閉館しています。</p>		

～毎月10日は人権を考える日～  
「令和元年度 人権問題に関する市民意識調査」より：①  
令和元年12月、市民2,000名（無作為抽出、20歳以上）対象に、「令和元年度人権問題に関する市民意識調査」を行いました。  
《人権にかかわる問題として特に関心のあるものを4つまで》  
障がい者の人権問題…45.2% いじめに関する人権問題…45.0% インターネットによる人権問題…33.0% ハラスメント…33.2%  
人権問題で関心の高かったものは、「障がい者」「いじめ」が最も高く、「インターネット」「ハラスメント」「高齢者」「部落問題」と続きます。平成28年に「人権三法」が続けて施行されました。しかし、約半数の人は「知らない」、または、内容までは「知らない」が3割～4割にのぼっています。今後、内容を含めた啓発を行っていきます。  
《平成16年11月に「西条市人権文化のまちづくり条例」を制定しましたが、知っていますか？》  
知らない…83.2% 知っている…15.2%  
ほとんどの人が「知らない」状況であることは課題です。更なる啓発が必要であると考えます。この条例は、「日本国憲法を基本理念とし、同和問題をはじめ、女性、障がい者、子ども、高齢者、外国人等へのあらゆる人権侵害をなくするための市及び市民の責務を明らかにすること、「人権文化の根付いた明るい住みよい西条市の実現」の2点を目的として制定・公布されました。  
現代は、「人権」の視点を抜きにして私たちの社会、生活を考えることはできません。  
西条市人権教育協議会・西条市人権擁護課

# 大町会館 だより8月号

2020年 8月 第244号  
発行: 西条市大町会館  
西条市福武甲1644番地1  
TEL・FAX: 55-5393  
eメール  
omachikaikan@saijo-city.jp

## 令和2年度 第1回人権啓発指導者育成講座を開催しました。

7月4日（土）、令和2年度第1回人権啓発指導者育成講座を開催しました。  
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事前の体温測定、マスクの着用、手指の消毒、3密を防ぐため隣同士の距離をあけるソーシャルディスタンスの実施、こまめな換気、シールドの設置など、できる限りの対策を講じながらの開催となりましたが、多数の皆さまにご参加いただき、会場は大盛況でした。

十全総合病院こどもリハビリテーション室作業療法士の藤井雅之さんを講師にお迎えし、『発達障がいをもった子どもの特性と理解～子どもからのサインを見逃さないために～』と題してご講演いただきました。

発達障がいは、脳機能障害（脳の特性）であるので、よりよい支援をおこなうためには、まず「感覚」と「脳」のことについて理解する必要があり、感覚と脳の役割について大変分かりやすく説明してくださいました。子どもの行動には必ず意味（理由）があり、子どもの行動理由を探ること、子どもの視点に立つことが、その子に合った支援の第一歩であり、その子にとってよい支援だったかどうかは、子どもの行動（反応）が答えであるということをおっしゃってくださいました。

最後に、「子どもの脳の発達には無限の可能性がある。」という言葉で締めくくられ、子どもの個性（認知特性）、能力（行動理解）を把握することの大切さを学ばせていただきました。

ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。



## 第244回 会館ミニ展示会

『伊予の高嶺の四季 写真展』

【日程】8月1日（土）～31日（月）

【場所】大町会館 玄関ホール

【提供者】伊藤 直樹 さん

一人で悩まないで、まずはお気軽にご相談ください。

ここ大町会館（隣保館）は、人と出会い、交流、つながる場です。偏見や差別、排除のない多様な生き方やこれからの社会の在り方を語り合う場です。人と人がつながり合う社会に関心がある方、何かを始めたいと思っている方、お気軽にお立ち寄りください。ご心配事、悩み事など各種相談、お申込み・お問い合わせは、**西条市大町会館（☎0897-55-5393）**まで、お気軽にご相談ください。

# 神戸コスモ子ども会 第2回親子人権フィールドワーク学習会

6月20日(土)、神戸コスモ子ども会第2回親子人権フィールドワーク学習会を実施しました。前回の旧西条市内に引き続き、今回は旧東予・周桑内をフィールドワークしました。コースは、「**林田哲雄の墓**」(小松町明勝寺生まれ 水平社・農民運動家)→「**小松温芳図書館で林田哲雄のお話**」(元明勝寺跡である小松温芳図書館で林田哲雄の生涯と書籍の紹介)→「**福田墓地**」(昭和63年地域改善対策特別措置法で整備された墓地・地域教材ほのぎ「死んでもなお差別が」)→「**専念寺**」(西条市水平社運動発祥の地)→「**みたまの塔**」(紫雲丸沈没事故の慰霊塔)の5ヶ所を巡りました。

小松温芳図書館では、司書補の友澤明さんと学芸員の三宅紗代さんによる林田哲雄の生涯についてのお話を拝聴し、書籍等の資料を見学させていただきました。その後、福田墓地・専念寺と巡り、最後に庄内小学校内にある「みたまの塔」の前で、東予総合支所市民福祉課人権擁護係の菅明彦さんに紙芝居『三十のみたま来ませ』を上演して頂きました。この紙芝居の舞台となった紫雲丸事故とは、今から65年前に起こった、瀬戸大橋建設のきっかけともなった事故です。昭和30年(1955年)5月11日、修学旅行中の庄内小学校6年生77名のうち29名とPTA会長1名が、当時四国と本州を結ぶ重要な輸送機関であった宇高連絡船「紫雲丸」の沈没事故により犠牲となりました。翌年、慰霊のみたまの塔を建立し、庄内小学校では毎年5月11日には、事故の事実と命の大切さを伝える「いのちの集会」を行っていることを庄内小学校長の松本卓也先生から教えて頂きました。参加者の皆さんのご協力によって、とても貴重な体験ができた現地学習会となりました。



## 第2回 人権啓発指導者育成講座のご案内

令和2年度第2回人権啓発指導者育成講座を下記のとおり実施します。

《日 時》 **8月1日(土)** 13:30~15:30

《場 所》 大町会館 2階大会議室

《講 師》 **西山 博 先生** みんなで人権を考える会「ころん」代表

《演 題》 やめませんか、きちんと説明できないこと  
~合理的、科学的、客観的に~

※受講ご希望の方は、大町会館(☎55-5393)までお申込みください。

## 『令和2年度 第31回大町会館文化祭』中止のお知らせ

今年度10月25日(日)に予定していましたが「令和2年度第31回大町会館文化祭」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、西条市人権擁護課と協議のうえ、中止とさせていただきます。

その理由として、『隣保館会館まつりは、各館ともに参加者が多く、飲食を伴うブースを用意する関係上、新型コロナウイルス感染症対策である三密の対応が難しく、また、会館まつり開催時期の新型コロナウイルス感染症の状況が現時点で見通せないから』です。

また、文化祭と同時に開催していましたが人権意識を高めるためのポスター展示や各サークルの作品展示や発表、毎年9月に開催していましたが文化祭準備等に向けての「第2回大町会館運営協力委員会」も中止とさせていただきます。

何かとご迷惑をおかけしますが、よろしくお願い申し上げます。

気温の高い日が続くこれからの時期、新型コロナウイルス感染症への対策と同時に熱中症の予防もおこないましょう。

### 「新しい生活様式」における熱中症予防行動のポイント

- ☆ 暑さを避けましょう
- ☆ 適宜マスクをはずしましょう
- ☆ こまめに水分補給しましょう
- ☆ 日頃から健康管理をしましょう
- ☆ 暑さに備えた体作りをしましょう



### 西条市人権フィールドワークマップ

